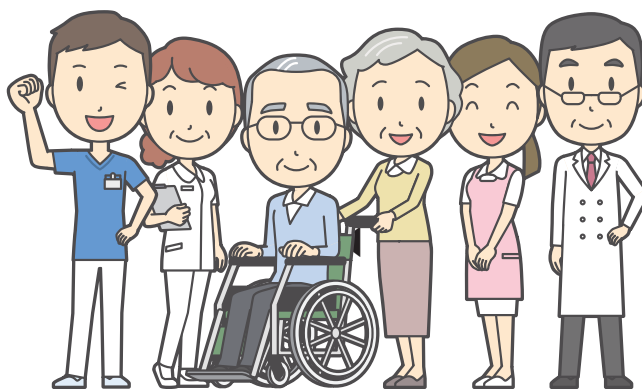


つながり

2021

3

2号



多職種連携

- ◆ 多職種連携による終末期の症状緩和をめざして
- ◆ PCA ポンプのレンタル運用
- ◆ オンライン上映会のご意見・ご感想

長浜米原地域医療支援センター

滋賀県長浜市宮司町 1181-2

TEL / FAX 0749-65-2755

E-mail : nm.iryoshien@iaa.itkeeper.ne.jp



ホームページ

多職種連携による終末期の症状緩和をめざして

～在宅療養の継続がかなえられた1例～

訪問看護ステーションでは、コロナ禍の今「病院に入院すると家族に会えない」「少しの時間しか面会できない」「このまま最期まで家で見ていきたい」という利用者さんやご家族の想いから、在宅看取りを支援するケースが増えているそうです。

「家で最期まで…」と望まれる利用者さんやご家族のために症状緩和ができ、少しでもご家族との良い時間を過ごして頂けるように支援できることが私たちの課題と話されています。

今回、多職種が連携することにより症状緩和が実現し、在宅医療が継続できた事例を長浜赤十字訪問看護ステーションからご紹介いただきます。

Aさん がん末期（余命数か月）

【経過】

手術後しばらくして転移が見つかるが、積極的な治療は希望されず病院とかかりつけ医を通院する。疼痛が増強する中、外来で「入院はしたくない」というAさんの希望が強く、訪問看護が開始になった。かかりつけ医中心の在宅医療になり、腹水穿刺、貼付剤など麻薬による疼痛緩和が難しくなってきた。

【問題点】

①ADL低下、疼痛コントロール困難

②Aさんにご家族の意向のずれ

Aさん	苦痛のあまり寝させて欲しい
ご家族	起きていて話をして欲しい



【アプローチの経過】

- 訪問看護師は、Aさんにご家族の想いのずれや疼痛コントロールに悩み、何回もかかりつけ医に電話連絡を行う
- かかりつけ医は長浜赤十字病院の地域連携課に相談



【地域連携課の提案】

- ①病院から処方して病院のPCAポンプを使用（管理料は病院持ち）
- ②支援センターの運用に沿って、診療所でPCAポンプをレンタルする（資料）

- 訪問看護師から緩和ケア外来のメリットを勇気をもって紹介
 - ▶PCAポンプの使い方
 - ▶薬剤量のアドバイス
 - ▶管理料は診療所で算定可能かも



早速
緩和ケア外来を予約



長浜赤十字病院がん相談窓口
☎ 68 - 3389



病院の緩和ケアチームと連携

医師、薬剤師、がん関連の認定看護師、理学療法士、栄養士等で構成され、症状緩和をはじめ精神的ケア、家族ケア等、困難事例に関して常に話し合っているチーム

- 緩和ケア外来受診前に緩和ケアチームにAさんの状態を情報提供し、話し合う

【緩和ケア外来を受診後、緩和ケアチームから提案】

- ①麻薬の開始量
- ②P C Aポンプの使用の流れ
- ③麻薬の貼付剤はそのまま、レスキュー分をP C Aから注入
翌日、開始量から痛みに応じて段階を上げる（→3段階まで上げて症状が安定）
- ④かかりつけ医は処方→薬局でP C Aカセットに充填
→訪問看護師が薬局へ受け取りに行く等、段取りをつける

【結果】

- ▶ケアマネジャーに連絡し訪問入浴が開始できた。
- ▶表情も穏やかになり世間話や冗談も話せるようになった。
- ▶家族もほっとされた。



【まとめ】～多職種連携の力～

- 薬剤の使い方や看護の力など、どちらか一方だけでは終末期の症状緩和は難しい。多職種が知恵を出し合い、うまく連携することが大切。
- 在宅医療をがんばってくださる先生に、P C Aの方法や緩和ケア外来などの引き出しを伝えることで、チーム力が増してくると思う。

湖北圏域看護職連携会議の発表資料参考

【感想】

当センターの出前講座で受講者の方に「余命を仮定した時、大切にしたい事は何か」を質問すると、必ず痛みや苦痛を取って欲しいと発言される方がいて、穏やかに最期を迎えるには疼痛コントロールは欠かせない課題です。痛みがあっても行動する事も気持ちにも前向きにはなれませんから、事例のようにそれぞれの職種の経験や知識、知恵の引き出しを結集し、最善の方策を考えていただく事が満足な在宅生活の継続に結び付くと感じました。

皆さんもたくさんの「引き出し」をお持ちですので是非多職種で共有できれば最高ですね。

PCA ポンプレンタルの運用

※当センターのHP「医療介護関係者の方へ（資料等）」のページに掲載

PCAとは患者自己調整鎮痛法の事で、手術後や癌の痛みに対して患者自らが鎮痛剤を投与する方法。このため①鎮痛剤を自分で即座に投与できる ②経口投与よりも迅速な疼痛コントロールができる ③頻発する痛みでも細かく薬を調整できるメリットがある。認知機能低下や混乱症状がある場合は痛み以外の理由でボタンを押すことで過剰投与のリスクがあるため適しない。

●PCAのレンタル業者（三笑堂でレンタル契約の場合）

京滋エリアのレンタル業者は三笑堂のみで京都が本店で滋賀県は栗東に支店がある（TEL：077-553-6888）

PCAポンプは京都で保管しているため、調達には時間的なタイムラグが発生（最短1時間から3～4日）

※据え置き代替機としてPCAポンプ1台を無償で貸出⇒設置場所：市立長浜病院の救急センター

設置運用は病院で決定し院内周知を行う（引き換えカードの運用やPCAポンプ使用者の明記など）

・スミスメディカルのレンタル費用 1台12,000円/月（+税）レンタル限度期間1年間

・メディケーションカセット ○50ml 3,000円/個 ○100ml 3,500円/個 ○250ml 4,000円/個

・エクステンチュールセット 114cmタイプ 560円 この衛生材料は指導管理料に含まれる

この衛生材料は一個払い出しの為、返品は可能

・市立長浜病院・湖北病院の担当者 南氏（携帯080-6184-2538）

・長浜赤十字病院の担当者 澤田氏（携帯080-5632-8907）



***PCAポンプ故障時の交換**（気泡や閉塞などの操作上・バッテリー消耗やカセットが空の場合以外で）

【手順】PCAポンプの代替機が必要と判断

在宅医又は訪問看護師は三笑堂担当者の携帯に連絡⇒連絡がつかない場合は留守電に入れる⇒業者対応が困難な場合、在宅医又は訪問看護師は市立長浜病院の救急に一報を入れ、引き換えカードを渡し代替機PCAポンプを受け取る（※業者は、平日の日中以外は、対応ができない場合がある・代替機使用の場合は、後日補充）

●診療報酬算定

在宅悪性腫瘍患者指導管理料（※）1500点/月

注入ポンプ加算 1250点/月

計2750点/月

在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料 1500点

（※）を受けている患者に対して当該地の医療機関と連携し同1日に鎮痛療法又は化学療法に関する指導管理を行った場合に算定できる

●保険薬局との連携

湖北エリア内での無菌ベンチ使用はスギ薬局長浜インター店が対応している（TEL 68-1045）

火曜日と金曜日の夜に薬剤のミキシング、水曜日と土曜日に払い出し可能（開店時間10:00～22:00）

麻薬の充填保証期間は1週間 使用頻度は1～2件/年

●訪問看護師との連携

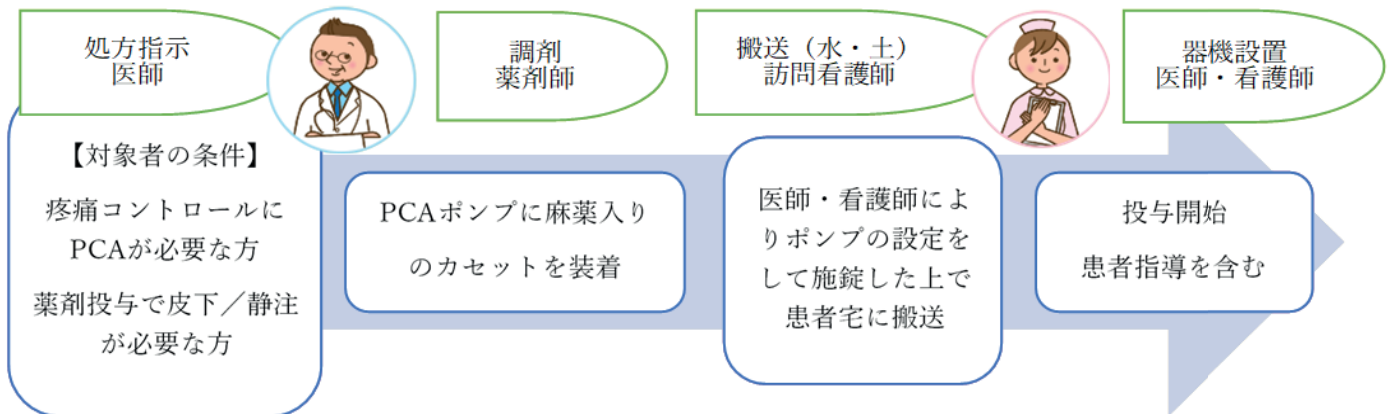
訪問前に麻薬充填カセットをインター店に貰いに行き、訪問後に空カセットをインター店に届ける

薬液交換専用キーは、基本訪問看護事業所の鍵ができる場所に保管する（訪問看護ST連絡協議会第6地区支部）

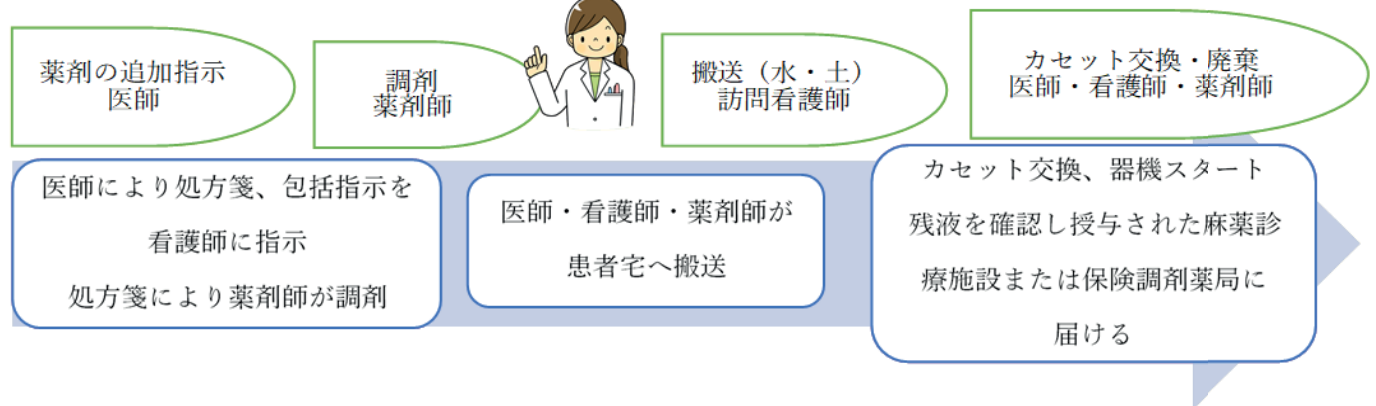
●ご家族

診療所で発行された処方箋と共に未使用のPCAカセットを保険薬局に届ける

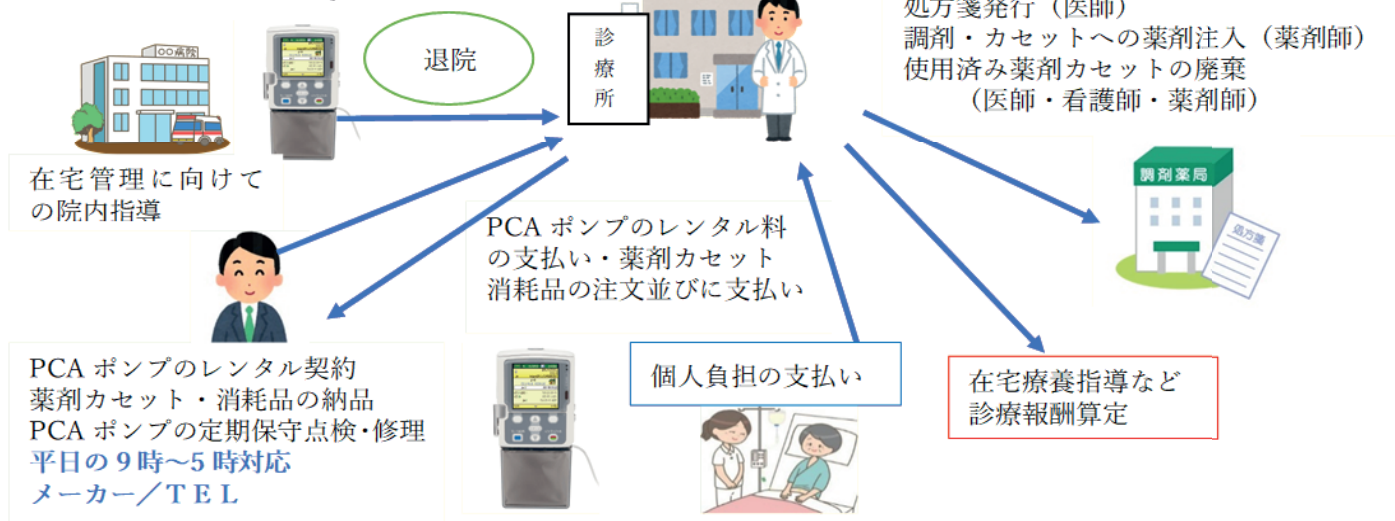
●運用の流れ



【2 回目の処方】



●PCA ポンプレンタルの流れ



- ①業者は、退院2～3日前にPCAポンプと交換用の未使用カセット・チューブ各2個を病院に持参する
- ②病院は、レンタルPCAポンプの交換と同時に薬液量を次の交換日に合わせて調節する
- ③診療所は、退院日からレンタル契約開始する

●死亡後の対応

死亡後、訪問看護師はPCAポンプを除去し、残薬入りカセットをスギ薬局インター店に持参
PCAポンプは診療所に返却する
診療所は返却の旨を業者に連絡し、業者はPCAポンプを診療所から回収する（レンタル契約は1か月単位）

●購入の場合

定価では50～60万円（1年間保証）メンテナンスに3万程度（バッテリー交換）の費用発生／1台

（文責）長浜米原地域医療支援センター 令和2年1月作成



多職種連携研修会：オンライン上映会開催

このコロナ禍だからこそ観て欲しい2作品を2週に渡り配信しました。昨年8月に実施した「ピア～まちをつなぐもの～」好評につき再上映。令和2年10月に公開されたばかりの「ケアニン～ここに咲く花～」について、視聴者アンケート結果をご紹介します。



在宅医療と介護をテーマにした『ピア～まちをつなぐもの～』
大学病院を辞め、実家の医院で訪問診療を始めた若手医師が、地域で活躍する多職種や患者、家族と出会い、成長していく物語。

在宅医療に関わる様々なテーマを取り入れ、多職種がチームとなり連携し、在宅医療に取り組む姿をリアルに描いた作品です。

【上映期間】 令和3年2月18日～2月23日

【視聴数】 40 【アンケート回答数】 14

【職種】

介護職（1）7.1% ケアマネージャー（8）57.1%

その他介護職 7.1%（1）リハビリ職 7.1%（1）

その他専門職 14.3%（2） 行政（1）7.1%

ご感想（一部抜粋しています）

- それぞれの力の結集でチーム医療が何倍にも充実したものになることをあらためて感じました。
- 職種が連携し、同じ目標に向かって、支援していくことの大切さ、私たちの仕事は、利用者により添い、その人らしく、最後まで住み慣れた地域、自宅で生活、生きることのお手伝いができる素晴らしい仕事だということを改めて実感しました。
- 本人の思いをかなえるために、様々な職種が自分の役割を果たす大切さを学べた。
- 医療と在宅の連携の重要性を実感した。
- チームワークの大切さを感じた。
- 自分の仕事や日常を客観的に見ることができ、改めて素晴らしい仕事に携わらせてもらっていると感じました。ただ現実には、ケアマネが医師にあそこまでズバズバ言えませんが…なんでも言えるような関係作りが必要なんだろうね。
- 在宅医療・介護をこれから始める人に是非とも視ていただきたいと思いました。





「ケアニン」とは、介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人。特別養護老人ホームを舞台に、主人公が認知症の老夫人と接しながら、介護の在り方に苦悩し成長していく物語。施設職員、経営者、利用者、その家族、それぞれの想いを丁寧に描いた作品です

【上映期間】 令和3年2月25日～3月2日

【視聴数】 60 【アンケート回答数】 13

【職種】

介護職 (2) 15.4% ケアマネージャー (4) 30.8%
 その他介護職 7.7% (1) 看護職 15.4% (2) リハビリ職 7.7%
 (1) その他専門職 7.7% (1) 行政 (2) 15.4%

ご感想（一部抜粋しています）

- 家族で難しいことも他人だからできることがあるという言葉がぐっときました。認知症になっても思いがあること改めて感じました。支える側も大変ですが、介護者がいることは心強いです。
- 日々の業務に忙殺されて忘れがちになっていた『利用者さんの笑顔が見たい』という初心を思い出させてくれました。
- 介護施設の現状を世間に知ってもらいたい映画だと思いました。介護労働者が不足している中、この映画をみて、介護の仕事の大変なところだけでなく、素晴らしいところやりのあるところを知ってもらえ、介護の仕事をしてみたいという方が増えることを願います。
- 個別ケアの難しさはまだまだあるけれど、こんな風にお一人お一人の人生に寄りそい、伴走者になりたいと初心を思い出すことができました。
- 認知症になっても大切な愛情や想いは消えないというメッセージがジーンと心に届きました。

オンライン研修への感想（一部抜粋しています）

- コロナ禍にあってもなかなかイベント会場や研修会への参加が難しいので、オンライン上映をしてくださったことはとてもありがたいことでした。どうもありがとうございました。
- 今まで観たいと思っていて、なかなか観れずにいたのですが、オンライン上映をしてくださった皆様のおかげで観ることができました。
- 時々テレビで出てくる介護職やケアマネジャーはいかにも極端でリアリティがない事が多く、白けた気持ちで見っていますが、このシリーズは親近感があり感動と新鮮な気持ちを思い起こさせてくれるので、ぜひ多くの人に今後も見ていただけるとよいと思います。またシリーズの他の作品も見てみたいので、今後もよろしくお願いします。
- この度は、オンライン上映を企画していただきありがとうございました。通常の上映会はなかなか都合が合わないのですが、オンラインであれば、いつでもスキマ時間を使ってみる事ができるとして申し込みをしたところ、面白くて一気にみてしまいました。これからもオンライン上映をしていただけたら周りの方にもPRしていきたいと思っています。
- コロナの影響で、今まで以上に疲弊している中、このような研修会を企画していただきありがとうございました。普通の研修会以上に、心に残るよい機会になりました。



長浜米原地域医療支援センター

長浜米原地域医療支援センターの

「シンボルマーク」は上記に決定しました！

在宅医療をコンセプトに「家」を中心に置き、多職種を「複数の〇」にたとえ、「両手」は支援を表現しました。温もりや優しさを感じられるように淡い色調にしています。

今後、他の支援センターと差別化するためにシンボルマークを活用していきたいと考えます。切れ目のない在宅医療と介護を確立するために事業をすすめていきますので、よろしくお願いします。